

字のないはがき④ 向田邦子

学習の目標

立場を変えて書き換えてみよう（リライトの方法を理解する）

- ❖ 原文とリライトされた文章を比較し、書き換えられた部分に次のように線を引いてみましょう。
 - 父親の視点から書かれるため、言葉が置き換えられているところ（赤のハイライト）。
 - 父の心情が書き加えられているところ（緑のハイライト）

原文

終戦の年の四月、小学校一年の末の妹が甲府に学童疎開することになった。すでに前の年の秋、同じ小学校に通っていた上の妹は疎開をしていたが、下の妹はあまりに幼く不憫だというので、両親が手放さなかったのである。

リライト文

終戦の年の四月、小学校一年の末の娘が甲府に学童疎開することになった。すでに前の年の秋、同じ小学校に通っていた真ん中の娘は疎開をしていたが、末っ子は一人ではまだ何もできないほど幼く、母親と引き離すのはあまりにかわいそうだと考えた。
そして何より、私自身、娘が近くにいなくなることが不安で手放すことが出来なかったのである。

ポイント①父親の視点から出来事が書かれているか、確かめながら書く。
娘である向田邦子の視点から書かれているものを、リライトでは父親の視点から書くことになります。

例えば

- 末の妹↓末の娘
となります。

ポイント②本文に書かれていない父親の心情を想像し、文章に書き加える。
父親の行動や発言などから、本文に書かれていない“父”の心情を自分で想像し、自分自身の言葉で書き加えてみましょう。

例えばこのようになります。

- あまりに幼く不憫↓一人ではまだ何もできず、母親や姉たちに甘えたい盛りでもある。